

水やりの基本は1日1回ですが、8月頃には1日2回くらい必要な日もあります。

スコップ、ジョウロ、ネット、防虫溶液、肥料、鉢底石、土、プランター、苗、種 ← 準備するもの

つくり方

保存版
チェックポイント!!

グリーンカーテンの基本的なつくり方、おまかな成育スケジュールです。

始めよう! グリーンカーテン

つくり方 設置方法 涼しさ マニュアル

ゴーヤー編

7月 開花、結実

6月 発芽、成長

5月 プランターに植えかえ

4月 土をつくる、種をまく

1 園芸用の土を準備

2 種を準備する

3 ポットに植える

4 間引き

5 プランターに移す

6 プランターに植えかえ

7 誘引する

8 水をやると

9 防虫する

10 追肥する

11 固形の化成肥料を花が咲いて結実の頃から1ヶ月に一回与えましょう。

12 液体肥料の場合は1週間一度、水やりの水の代わりに与えます。

13 液体肥料の希釈値は製品の用法に従ってください。

14 固形の化成肥料を花が咲いて結実の頃から1ヶ月に一回与えましょう。

15 液体肥料の場合は1週間一度、水やりの水の代わりに与えます。

16 液体肥料の希釈値は製品の用法に従ってください。

肥料の成分は「N(チッソ)・P(リン酸)・K(カリウム)の順に数字で表されています。「8-8-8」であればそれぞれ各8%配合されています。

8	-	8	-	8
N	P	K		

肥料の成分は「N(チッソ)・P(リン酸)・K(カリウム)の順に数字で表されています。「8-8-8」であればそれぞれ各8%配合されています。

成長の三大要素

N	窒素	茎や葉を茂らせます	追肥で多めに	葉肥(はこえ)
P	リン	花やツボミ、実の成育を促します	最初多めに	実肥(みこえ)
K	カリウム	根の成育を促します	追肥で多めに	根肥(ねこえ)
その他	石灰	カルシウムです	細胞壁を強くします	
	マグネシウム	葉緑素をつくり	新陳代謝を促します	

肥料はスミに指で囲みをつけて入れ

肥料の種類と効力

① 肥料のあげ方

② ツルを傷めない結び方

③ 硬実(こうじつ)の話

④ 直接プランターに種をまく場合

⑤ 土の酸性とアルカリ性(pH)

⑥ 防虫溶液の種類

⑦ こんな害虫がいます

⑧ こんな病気がいます

⑨ 気をつけよう

つくりかたのポイント!

アサガオの場合もほぼ同じつくり方です。注意点はアサガオの場所を見てください。

配合をしてみる

ゴーヤーに適した土を作るには、赤玉土3割、黒土2割、ピートモス、パーミキュライト、腐葉土をそれぞれ1割のバランスで配合し、カキガクソ、アサリ、シジミの殻あるいは卵の殻を砕いたものを加えても良いですよ。

赤玉土はふるいにかけて細かい土の粉を取り除いておきましょう。ホームセンターなどで園芸用の土を購入するときは、花野菜用の土を選びましょう。

ゴーヤー

pH 5.5 6 6.5 7 7.5

弱酸性 中性 弱アルカリ性

パーミキュライト 1 赤玉土 5 黒土 2

ピートモス 1 腐葉土 2

bitter melon 苦瓜 igoari

沖縄では、「ゴーヤー」と呼んでいます。ツルレイシとも呼ばれるゴーヤーは、沖縄や九州南部、群馬県などで栽培され、独特の苦みがあるのが特徴で、苦味成分は胃液の分泌を促して食欲増進や肝機能を高め、血糖値の降下にも効果があるとされています。

グリーンカーテンで涼しく暮らすアイデア!

緑被率70%を目指そう

グリーンカーテンで涼しく過ごすために大切なのが、緑被率を高めることです。理想的なのは、半分以上が葉で覆われている緑被率70%以上の状態。葉がしっかりと覆い茂ることで、直射日光が遮られることにもつながります。緑被率70%を目指して成長を促すためには、日ごろのお手入れが欠かせませんが、水・肥料を適切に与える以外にも、摘心とつるの誘引が大切です。

よしず・すだれを併用しよう

場所によっては開放的に窓を開けておくことができなかったり、家の中が見えることに抵抗を感じる人も多いのではないのでしょうか。そんな時はグリーンカーテンとよしず、すだれを併用しましょう。外からの家の中が見えにはならず涼しく過ごせるだけでなく、気温が上昇し暑くなる梅雨明けまでに日かげを作るというメリットがあります。窓を覆い隠すようによしず、すだれ、グリーンカーテンを設置することで、夏場はとても気持ちよく過ごせます。

葉の繁茂状況と緑被率の関係

0%	葉が全くない
20%	葉が少ない
50%	半分くらいが葉で覆われている
70%	半分以上が葉で覆われている
90%	大部分が葉で覆われている

出典: 神奈川県環境科学センター編「壁面緑化チャレンジ! ガイド」を一部改変

情報提供: 神奈川県川崎市 川辺奈津女さん

窓を覆い隠すようによしず、すだれ、グリーンカーテンを設置することで、夏場はとても気持ちよく過ごせます。

設置方法は?

1. ネットは10cmの網目を選ぶ

園芸ネットは10cmの網目サイズがお手入れしやすく、葉が茂ってもある程度風が抜けやすくなります。

2. ネットはピンと張る

ネットがまっすぐにピンと張られているとゴーヤーが絡みやすくなります。張り具合は時々チェックしましょう。

3. 日影を多くしよう

グリーンカーテンは、窓だけでなく、窓の周囲の壁や地面にも日陰を作り、熱を発生させる面をカバーするのが涼しさのコツです。

① つるが伸びる前にネットを張る。

★ヒートンにS字フックをかけ、そこへ竿を通す方法です。

軒下に取り付けるタイプ

軒下や庇(ひさし)に丸金具(ヒートン)を取り付け、ネットを張る竿を吊る方法があります。金具は軒下の奥のほうに取り付けることで、つたが屋根に伝うのを防ぐことができます。

棒組み自立タイプ

地面に杭を打って支柱を括り付けます。窓からの距離を余裕持たせ、パーゴラ風に天井も緑のカーテンで覆えば、日影を多く作ることができます。

移動タイプ

キャスター付きの組み立て式台に支柱となる棒を固定する方法です。下の段にも植物を置けば直射日光を防ぎ、かつ重心を下にすることで台が安定します。可動式なので洗濯ものや布団干しも解決し、時間による日差し対策もできます。

固定タイプ

ベランダの床と天井につっぱり式のポールで支柱を作り、竿受け(ジョイント)は引っかけ型ではなく、穴を通すものや固定できるものを利用しましょう。

★イラストは物干し竿受け(両端1対)の耐荷重が約10kgのつっぱり式ポールを2セット用意して、180cm×90cmのグリーンカーテン(約15kg)につくことを想定しています。台の上にゴーヤーを植えたプランターを置き、その下にも植物を置くことで手廻り台の下側からの直射日光を防ぐことができます。

約30kgにもなる?! グリーンカーテン

180cm×180cmのネットにグリーンカーテンが生い茂ると、その総重量は約30~40kgにもなります。さらに風が吹いたりするとその分の荷重も出てきますので、ヒートンや底、つっぱり式ポールの耐荷重に注意しましょう。場合によってはヒートンやポールの数を増やすことで荷重を分散させます。

★プランターの下にネットを巻き込み、その重さを利用してネットを張る方法で、調節も簡単です。

移動タイプ

キャスター付きの組み立て式台に支柱となる棒を固定する方法です。下の段にも植物を置けば直射日光を防ぎ、かつ重心を下にすることで台が安定します。可動式なので洗濯ものや布団干しも解決し、時間による日差し対策もできます。

固定タイプ

ベランダの床と天井につっぱり式のポールで支柱を作り、竿受け(ジョイント)は引っかけ型ではなく、穴を通すものや固定できるものを利用しましょう。

★イラストは物干し竿受け(両端1対)の耐荷重が約10kgのつっぱり式ポールを2セット用意して、180cm×90cmのグリーンカーテン(約15kg)につくことを想定しています。台の上にゴーヤーを植えたプランターを置き、その下にも植物を置くことで手廻り台の下側からの直射日光を防ぐことができます。

涼しさのヒミツ? グリーンカーテン

日射が持つ熱エネルギーを約80%カット!

カーテンなし

カーテンあり!

窓からの日射の侵入を防ぐ

夏の直射日光による室内の温度の上昇を防ぐには、葉の十分に茂ったグリーンカーテンが効果的です。日射の熱エネルギーの約80%をカットする遮蔽効果があります。すだれの遮蔽率が50~60%、高性能の遮蔽ガラスでも55%程度。いかにグリーンカーテンが優れているかがわかります。

放射熱を防ぐ

家のまわりの表面温度を抑える

暑さ対策は直射日光だけではありません。強い日射を受けて表面温度が高くなった窓付近の地面や壁などからの熱が放出されるのも暑さの原因です。この放射熱により、室温以上に体感温度が上昇し、さらに暑さを感じるようになります。そのため、グリーンカーテンの張り方を工夫して壁や地面も日差しから遮ることで、放射熱の発生と侵入を効果的に抑えることができます。

【編集協力】
日本工業大学 建築学科教授 成田 健一氏
建築環境工学・都市熱環境を専門とし、主に水と緑の環境調整効果、市街地の「風通し」や「風の道」の効果に関する研究などをテーマとして行っています。
「緑のカーテンが教室の暑熱環境に及ぼす効果」(leontac.jp/narita/profile/paper/ceis2007-midoriK.pdf)

グリーンカーテンの楽しみ方

知っておきたい!

日なた

頭への直射日光や地面からの照り返しにより、表面温度が約45℃を示している。

よしず

日かげ

グリーンカーテンにより、壁、ガラス面への直射日光を遮ることと地面の放射熱を緩和することで、体感的に涼しく感じるが見て取れる。

放射熱を防ぐ

放射熱...物体から物体に電磁波の形で伝わる熱のこと。

放射熱を防ぐ

放射熱...物体から物体に電磁波の形で伝わる熱のこと。

自分でできる、夏を涼しく過ごす工夫!

家の外の工夫

室外機周辺への直射日光をさける

グリーンカーテン

すだれ

家の中の工夫

- 専用涼しげな色や素材に衣替え
- 風通しを良くする
- 断熱フィルムを窓に貼る
- エアコンフィルターの掃除

全国地球温暖化防止活動推進センター

http://www.jccca.org/

「省エネを涼しく過ごす工夫」について詳しい情報は上記URLを参考にしてください。

【注】●ネットの張り方のイラスト、説明は参考例です。実際の形状とは異なる場合があります。取り付けの建物、庭等の条件を判断して実施してください。また、ネット取り付け時には高所での作業になりますのでご注意ください。集合住宅のバルコニーでの設置条件は管理組合等でご確認ください。●物干し竿、つっぱり式ポール等の本来の使用用途と異なるものについては商品添付の取扱説明書をよくお読みの上、荷重等に注意して自己責任の上で使用ください。特につっぱり式ポールは固定場所の強度を確認し、設置後も定期的に緩みがないか確認をしてください。